



CHARTERED IN
NOVEMBER 21, 1955

THE SERVICE CLUB OF YMCA
THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S

2015年8月

札幌クラブ

THE Y'S MEN'S CLUB OF SAPPORO

c/o YMCA
MINAMI 11 NISHI 11
CUO-KU SAPPORO
T.064-0811
011(561)5217

CS (コミュニティー・サービス=地域社会奉仕)

— 主 題 —

国際会長
アジア会長
東日本区理事
北海道部部长
札幌クラブ会長

「信念のあるミッション」
「愛を持って奉仕しよう」
「原点に立って、未来へステップ」
「地元愛」
「YMCA と共に」

Wichian Boonmaporjorn(タイ)
Edward K. Ong (シンガポール)
渡辺 隆 (甲府)
伏木 康 (札幌)
宮崎 善昭 (札幌)

札幌クラブ役員
会 長 宮崎 善昭
副会長 八田 信之
書 記 中田 千鶴
会 計 秋葉 聡志
直前会長 伏木 康

今月の聖句

みことばはあなたのごく近くにあり、あなたの口と心にあるのだから、それを行うことができる。

申命記 30 章 14 節 宮崎善昭選

巻頭言

クラブの60年・・・って？

60周年実行委員長 柴田 伸俊



今年是我が札幌クラブが60周年の節目を迎えます。8月28日(土)には60周年記念の実施を計画しています。多くのご参加をお待ちしています。

60年はまさに還暦。私は今年64歳なので、4歳の時に札幌クラブがチャーターしたことになります。35歳の時にワイズに関わり今に至ります。チャーター当初の事情は知りませんが、私が入会してからクラブはずいぶん変わりました。チャーターメンバーは今ではもうおられません、二世の会員がいます。女性会員は4名、平均年齢も50台です。

メネットによる手作り会食が今はお弁当に変わり、YMCA館内の例会場は札幌市内のホテルになりました。残念ながらメネット会は今は在りません。活動内容も多岐に渡っていますが、内容はずいぶん変わってきました。年に3~4回行っていた切手整理は今では有りません。時計台コンサートや希望の凧揚げは年間の事業となりました。変わらないのはYMCAバザーの出店、長く続いているのはチャリティーランの参加。さまざまな形を変えながらアメンバーの様に、今年も元気に楽しくクラブは活動しています。

ワイズに引かれて
善光寺参り



2016年

第17回国際大会は台湾**台北市**

第19回東日本区大会は**長野市**

国際大会、区大会に出ると
ワイズの見方が変わります。
今から準備して出席しましょう



2015年7月例会
出席報告

在籍会員 12名
ゲスト 0名

例会出席 10名
ビジター 0名

メネット 0名
出席者合計 10名

メーキアップ 0名
出席率 91%

札幌ワイズメンズクラブ

2015年8月例会

日時 2015年7月21日(火) 18:30~20:30

会場 クラッセホテル札幌 2F会議室

札幌市中央区大通西7丁目

☎ 011-281-3800

会費 1,200円

プログラム

司会 秋葉 聡志

① 開会点鐘 札幌クラブ会長 宮崎 善昭

② ワイズソング・ワイズの信条 全員

③ 聖句 中田 千鶴

④ 会長挨拶 会長 宮崎善昭

⑤ 誕生日: 8月27日 安田 文子



結婚記念日 なし

⑥ 北海道部第1回部歌詞・評議会

札幌クラブ60周年記念祝会 準備

その他

⑦ 諸報告

⑧ YMCA報告 担当主事 佐藤 雅一

⑨ みんなで歌おう

「ああ栄冠は君に輝く」



閉会点鐘

会長 宮崎 善昭



時計台の鐘の音とショパン

今年も恒例の「時計台コンサート」が140年の歴史を誇る「旧札幌農学校演武場」で開かれました。ショパンの「ノクターン」と「幻想即興曲」、それにヴァイオリンでヴィターリの「シャコンヌ」、フランクの「アイオリンソナタ」も付け加えました。時計台ですから障子にカーンカーンと鐘が鳴ります。それに今年は猛暑のため窓は全部空け放し。演奏中に救急車が2度もサイレンを鳴らし通り過ぎました。本当に実社会に密着した素晴らしい「チャリティーコンサート」でした。

札幌ワイズメンズクラブ 7月例会

日時: 2015年7月21日(月) 18:30~20:30

場所: クラッセホテル札幌 2F

参加者: 秋葉、川上、佐藤、柴田、中田千、中田靖、安田、柳沼、宮崎

ゲスト 義村小夜子(札幌北) 合計10名

宮崎会長が3月例会で行った「わがYMCAの思い出」という卓話は、宮崎青年が京都YMCAへ出向し、京都へ転籍するか、札幌へ帰任するか、人生の岐路に立ったところで終わっていた、7月例会で待望の続編を聴くことが出来ました。(アジア大会・DBC記事転載のため要旨は9月ブリテンに掲載します。)

札幌ワイズメンズクラブ7月事務会

日時: 2015年7月27日(火) 19:00~20:00

場所: 札幌YMCA 総主事室

参加者: 秋葉、佐藤、柴田、中田千、伏木、宮崎、(中田靖)

- 8月例会の卓話者は中田会員の友人の張聖珍氏(新農業研究所主任研究員)に依頼する。テーマは同氏が研究している新種の黒豆が起こす農業革命について。
- 8月ブリテンの巻頭言は柴田会員。聖句は小野会員(小野会員から来ない場合の代打は宮崎会長)
- 中田靖泰会員が義村会員追悼文集「一筋の路」の出版作業進捗状況を報告。さらに60周年記念エコバッグを提案し、了承を得た。



何故この聖句を?

会長 宮崎 善昭

私たちは、自分に頼ると善をしりつつ尚、それを行えない存在です。必ず判断に打算が混じり、より自分にとって都合がいい判断がなされるのです。しかし、善である神の心は常に示されていて、私たちは自由にそれを選択できる立場にいるのです。

京都パレスとDBC (国内兄弟クラブ) 締結!

第26回アジア地域大会



写真上：前列 左から、渡辺東日本区理事、
2人目、署名する伏木札幌会長、3人目、小林千春パレス会長
右端 松本武彦西日本区理事

札幌ワイズメンズクラブは昨年秋から交流を続けてきた京都パレスワイズメンズクラブと第26回アジア地域大会の壇上においてDBC締結を行いました。

パレスクラブはアジア最強の西日本区京都部（会員数500数十名）の中でも活発に奉仕活動を展開しているクラブです。会員は60名を超えています。

それに引き替え我が札幌クラブは会員数11名の小クラブです。ミスマッチを危惧する声もありましたが、違うからこそ、学び合い、助け合うところも多いはずだと敢てお受け致しました。パレスの活力、チームワーク、やる気に学んで札幌クラブの61年目の新たなクラブ作りを始めたいと思います。

最初の学びのためにパレスの小林千春会長のつづやきを下にコピーします。ご熟読下さい。

京都パレスクラブ会長 小林 千春

今期は、メリハリをつけようと奉仕事業を見直している。その意図は、楽をしたいのではなく、「今までやってきたから」「そういうもんやねん」という惰性感を取り払いたいというもの。いったん見直した結果、見直し対象事業を「やっぱりやるべきやで」という再認識が生まれ、改めてクラブとして主体的に取り組むべしという総意が醸成されたのなら、それはそれで喜ばしい話。

他方、見直しのみならず、なかなかフォーカスを当てづらい領域への奉仕活動を始めてみたいとも思った。確かに僕も、以前は「そんな新しいことをわざわざせんでええやん」と思ったこともあった。しかし、いざ現在の我がクラブを見渡したとき、正味の話、何をやってるのかわからんクラブになってると思う。

他人にパレスクラブを説明するとき、みなさんどう説明してる？異業種交流会？...ちまたにあふれかえってるよな。自己研鑽？...客観的に見て本当に「研鑽」できてる？？ワイズに来んでも生きることが研鑽やで。親睦団体？...酒飲んで言いたいことって最後は肩を組んで帰ってるだけ？？

とりあえず来てみてくれ...一番説得力ある勧誘文言ですな。パレスを何か特徴づけたい、単純にそういう考えであれこれ言うてます。特徴づけて、「魅力あるクラブ」にしたい。「とりあえず来てみてくれ」と勧誘し、そのまま寝技で入会者を獲得するのではなく、「なんかおもしろそうやな」と思わせて入会してもらいたい。

これがゴールです。

2015年7月30日～8月2日、アジア地域大会が灼熱の京都で開かれました。札幌クラブから伏木康会長と中田靖泰会員の2名が出席しました。

1日目、バナーセレモニー、開会式、IP、AP就任式が行われました。京都市長自身も歓迎の挨拶を述べ、京都におけるワイズの存在感を見た思いでした。アジア大会ですから進行はすべて英語で行われます。日本語、英語、韓国語、中国語の4か国語の同時翻訳が大スクリーンに投影されるので、進行についてゆくのにさほど苦勞はしません。（多少、目は疲れますが。）

基調講演は『宇宙からの贈り物』と題する宇宙飛行士毛利衛君の講演でした。豊富な動画、パワーポイントによる資料を駆使しての興味深い啓発的なスピーチでした。面白かった話題を2、3紹介すると、毛利君はカレーライス、ラーメンなどの日本食を宇宙船に持ち込み、それが大変人気があり、現在は標準宇宙食になっているそうです。宇宙飛行士が欧米中心だったころは魚は匂いのせいで宇宙食には取り入れられていなかったのですが、ロシアの宇宙飛行士は魚が大好きで、取り入れられるようになり日本のサバの味噌煮が好評だそうです。



40年前の北大助教授時代の中田と毛利君です。あまり変わっていません。

次に面白かったのは、欧米の宇宙飛行士は宇宙に出ると「この壮大な宇宙に秩序を与える神がやはりいるに違いない」と思うのだそうです。しかし、仏教で育った毛利君は「人類といえども一人では生きられない。大切なのは、あらゆる生物とのつながり、調和、harmonyだ」と感じたそうです。「宇宙から見た地球には国境は見えない。internationalではなくglobalでなければならない」という言葉が印象的でした。

体内から出た水分はすべてリサイクルするそうです。今日出した小便は明日はコーヒーになって出てきます。純粋のH₂Oは本当にまずく飲めたものではないそうです。大の方は貯めておいて大気圏に突入する時に外に出して燃やしてしまうそうです。

宇宙船で使う電力はすべてソーラーパネルで太陽から取り込みます。しかし取り込んだだけでは宇宙船は焼け焦げてしまうのでソーラーパネルと同じくらい大きなパネルで宇宙空間に戻します。その戻しが今地球では出来ていない。それが地球で起こっている地球温暖化の実態だそうです。結論は地球をリングに例えるとあらゆる生物が生存している大気圏はリングの皮のように薄いもろいもので、これを大切に守らなければならない、というのが毛利君の結論でした。

(前ページより続く)

2日目は、午前中は4部門に分かれてのフォーラム、伏木会長は Extension、中田は Youth のフォーラムに加わりました。午後は、7グループに分かれ京都観光へ繰り出しました。伏木部長は「世界遺産・宇治平等院鳳凰堂と宇治茶体験の旅」にくわりました、しかし、中田は炎天下の屋外へ出る気力はなくホテルの中に設営された「日本の夏祭り『縁日』と京菓子作りとお茶体験」で怠惰をきめこんでいました。

夜は晚餐会ではアジア大会の前に開かれたユース・コンボケーションに参加した50人の青年が登壇、この青年たちをきちんと育てることが出来ればワイズの未来は明るいと思いました。

参加国が自国の文化を披露する恒例の Culture Night、それに続く1時間の「アジア会長舞踏会」は大盛り上がりでした。この舞踏会に参加するため(だけ)に国際大会に出かけていた亡き友を思い出しました。

3日目、最終日は、IBC、DBCの締結式で伏木会長が登壇し、京都パレスとの DBC 締結書に署名しました。IBC では香港とシンガポールにクラブのようでした。炎天下、914名のメンバー、48名のユースが集まった大会を整然と開催した京都パレスのマンパワーとチームワークに敬服しました。「国際大会を経験したワイズは一味違う」と言います。未経験の会員には来年の台北国際大会参加をお勧めします。

大会終了後、新しくDBCになった京都パレスクラブの打ち上げ会に招かれました。大会終了が押してしまったので、伏木部長は予約した帰りの便の関係で参加できません、中田会員が一人参加し、長年京都パレスの DBC となって活動している東京グリーンクラブ、熱海クラブの会員と共に、パレスの会員と語り合いました。パレスの会員は皆若い。そして、皆本当に楽しそうでした。炎天下の京都のアジア大会でしたが、外にも負けぬ熱い大会でした。心からの感謝と敬意を表します。これから末永いご厚誼を。(中田靖泰 記)



左：大会場の伏木部と中田会員
上：京都パレスの打ち上げ会の DBC の東京グリーンと熱海会員

ワイズの信条

1. 自分を愛するように、隣人を愛そう。
2. 青少年のためにYMCAに尽くそう。
3. 世界的視野をもって、国際親善をはかろう。
4. 義務を果たしてこそ、
権利が生ずることを悟ろう。
5. 会合には出席第一、
社会には奉仕第一を旨としよう。

YMCAニュース★★★★ 担当主事 佐藤雅一

①第20回ベトナムボランティアワークの旅

8月5日～15日で第20回ベトナムボランティアワークの旅が行われます。参加者7名が現地の人々と共に小学校の教室建設に取り組みます。

今年は秋葉総主事が部分参加し、現地での活動を視察し、贈呈式に参加します。合わせてベトナムYMCAのロック総主事とミーティングを行い、これまでの評価と今後の活動について話し合います。

②高校生のための国際理解ワークショップ

専門学校では、高校生を対象に国際理解を深めてもらうためのワークショップ「世界について考えよう」を毎月行っています。

8月は、「ガイドブックに載っていない!?すてきなベトナム」をテーマにベトナムの素顔と北海道YMCAが取り組んで来た活動を通して理解を深めます。

③地域のイベントでベトナムボランティアワークの旅を紹介

8月30日 JICAふれあい広場、9月5日エルプラまつりに北海道YMCAが参加します。両イベントではベトナムボランティアワークの旅紹介とベトナム雑貨の販売を行います。

④全道サッカー大会

9月6日西区八軒にある農試公園ツインキャップで第28回YMCA全道サッカー大会が行われます。札幌・とちか帯広・北見から選手が集まり、幼児の部・小学生の部に分かれて行われます。札幌ワイズメンズクラブのコーヒーサービスは、毎年好評です。



⑤チャリティープログラム集参加者募

▼チャリティーパークゴルフ

9月13日八剣山パークゴルフ場で行われます。

参加費 3,000円

(プレー費・昼食・チャリティー込み)

▼チャリティーゴルフ

9月20日滝野カントリークラブで行われます。

参加費 5,000円(プレー費・食費、別チャリティー込み)

益金は障害児プログラム支援のために使われます。



⑥国際活動報告会

9月19日専門学校の学生による国際活動報告会が行われます。

京都で行われたアジア・ユース・コンボケーション、ベトナムボランティアワークの旅、カナダ語学研修に参加した学生による体験と学びの報告が行われます。